

R7外部評価ヒアリング (R6事後評価)

ヒアリング調書 (2班)

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	集落内自主除雪の支援事業		
担当課	地域生活課	担当係	土木係
日時	令和7年7月9日 8:55~9:15		
質疑応答 (発言者)			
委員	昨年度、5団体について実績なしとのことだが、その理由は？		
説明員	申請後の稼働については、集落毎の判断となる。降雪が少なかったのかもしれない。		
委員	事故等が発生したときの責任は、どこにあるか。また、過去に事故等の事例はなかったか。		
説明員	本事業は、自主除雪に対しての燃料費相当の支援であり、町で責任を負うような制度にはなっていない。これまで、大きな問題はなかったように思う。		
委員	申請しない集落もあるとのことだが、こういった事情が考えられるか。		
説明員	例えば、集落内を大きな路線が走っている場合などが考えられる。浜地区は、地理的にあまり積もらない。また、農家の方がいないと農作業機械がないので活用できない。		
委員	課題として、高齢化による作業従事者の減少が挙げられているが、その対策は？		
説明員	担い手不足の解消は、難しい課題であると感じている。今後、除雪路線の集約化によって作業に余裕ができたなら、町で対応するという可能性もあるかもしれない。その場合であっても、本当に必要な路線を見極める必要があると思う。		
委員	昨年度は豪雪ではなかったように思うが、決算額が増えているのはなぜか。		
説明員	確かに豪雪ではなかったが、雪質が変わっているように感じる。一気に降って一気に解けるため、見た目に反して稼働は多くなる。また、支援単価も上げている。		
委員	集落からの申請や、実際の稼働について、どの程度確認しているか。		
説明員	日常のパトロールにおいて確認している。申請書類も同様。		
委員	除雪の要望など、クレームのようなものはあるか。		
説明員	自主除雪はボランティア精神でしていただいている面もある。集落の方にクレームを言うのは違うように思う。		
外部評価の 意見	農作業機械を保有していない集落への対応を、早急に検討していただきたい。		方向性
			改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	メイクアップロード推進事業		
担当課	地域生活課	担当係	土木係
日時	令和7年7月9日 9：15～9：25		
質疑応答 (発言者)	委員 昨年度の実績値は18団体とのことだが、町全体の該当集落数は？ 説明員 18団体というのは、県補助の対象としている集落数。町単独で配布している集落もあるので、数としてはもっと多くなる。 委員 数は、まちづくりセンターでも集約していると思う。非常にいい事業である。担い手不足が問題になっているようだが、八日町集落では水やりは当番制で実施している。 委員 花を植えた後の管理をする人が、少なくなってきた。今後の展望は？ 説明員 以前は、子ども会の活動として植栽しているところもあった。近年は、そういったこともあまりない。一律で実施するというよりは、担い手のいる集落を中心として、環境美化の推進が図れればと思う。まちづくりセンターとの協議も必要ではないか。		
外部評価の 意見	着実に実施していただきたい。		方向性 継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	濁水（赤水）対策事業		
担当課	地域生活課	担当係	上水道係
日時	令和7年7月9日 9：35～9：50		
質疑応答 (発言者)	委員 昨年度の大雨災害の影響は？ 説明員 被害は、ほぼなかった。ただし、上水道の施設は山手にあることが多く、施設に行くための林道が被災していたようだ。また、当日の夜間、雷により停電となったが、未明に復旧することができた。 委員 指定工事業者の数は？町内に事業所がなくてもいいのか。 説明員 約70程度。住所要件はない。 委員 昨年度の決算額が少ないのはなぜか。 説明員 強制排泥の対象により、金額は増減する。平津系を実施すると、作業員の数が増えるため、委託料も上がる。 委員 新たな人材の確保が課題として挙げられているが、現在の状況はどうか。 説明員 作業員の高齢化が進んでおり、75才くらいの方も働いている。今月末の排泥作業には、新たに30代の方から来ていただけることになった。若い世代を確保するために、声掛け等行っていきたい。 委員 町内に事業所がある業者はどれくらいいるか。 説明員 約20程度。これには建設会社も含まれる。 委員 苦情等はないのか。 説明員 濁り水に関する苦情はない。		
外部評価の 意見	計画的に実施していただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	上水道使用料金収納率向上対策事業		
担当課	地域生活課	担当係	上水道係
日時	令和7年7月9日 9:50~10:00		
質疑応答 (発言者)	委員 督促状は、何件くらい発送しているのか。 説明員 100件以上はある。 委員 口座に残金がない方ということか。 説明員 口座振替以外の方もいる。 委員 給水停止することもあるとのことだが、停止すると払うのか。 説明員 払っていただける場合が多いが、全額払うとも限らない。 委員 給水停止するときの基準は？ 説明員 3か月以上の滞納で、催告書を発送する。それでも払わない場合に、給水停止する。 委員 給水停止となるのは、毎回同じような世帯か。 説明員 そのように感じている。 委員 未収金は、何円くらいか。 説明員 約2000万円程度。以前は3000万円ほどあったので、少なくなっている。 委員 その未収金には、事業所の金額も含まれるか。 説明員 含まれる。 委員 漏水には、どのように対応しているか。 説明員 通常の漏水であれば、算定式に基づいて、使用者と町で折半となる。ただし、水栓の閉め忘れのような場合は、管理上の問題であり、漏水の対象とはならない。		
外部評価の 意見			方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	下水道水洗化活動		
担当課	地域生活課	担当係	下水道係
日時	令和7年7月9日 10:20~10:35		
質疑応答 (発言者)			
委員	目標値が85%であるのに対して、実績は78.4%となっている。目標値に届いていないようだが、どのような対応をしているか。		
説明員	下水道区域であれば、汲取りから下水道、または浄化槽から下水道への切替えをお願いしている。また、下水道区域外のときは、単独浄化槽から合併浄化槽への切替えをお願いしている。個別に接続依頼を行ったり、補助制度のPRも行っている。		
委員	補助制度の補助率は？下水道接続工事だけでも対象となるか。		
説明員	持家住宅リフォーム支援金という制度になる。下水道等接続工事を行う場合は、リフォーム工事費100万円まで22%となる。接続工事だけでも対象となる。		
委員	成果指標の数字は、下水道接続のみを対象としているか。		
説明員	公共下水道と地域集落排水と浄化槽の、合算値となる。		
委員	汲取り数は、どのくらいになるか。		
説明員	手元にデータがない。		
委員	接続率について、集落毎の傾向はあるか。		
説明員	集落というよりも、個々の家庭事情が大きいと感じる。ご年配の方、一人暮らしの方、経済的に厳しい方など、様々な事情がある。		
委員	汲取りの状態から下水道接続するのに、費用はどのくらいかかるか。		
説明員	例えば、庭が広ければ、その分下水道管も長くなり、金額は大きくなる。それぞれの現場状況によるため、一概には言えない。		
外部評価の 意見	計画的に実施していただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	受益者負担金未納者対策事業		
担当課	地域生活課	担当係	下水道係
日時	令和7年7月9日 10:35～10:45		
質疑応答 (発言者)			
委員	昨年度の実績は96.6%とのことだが、未納額としてはいくらになるのか。		
説明員	成果指標は、現年度賦課分調定額分の現年度収納額を設定している。49.8万円分の48.12万円となり、未納額は約1万円ほどになる。		
委員	令和7年度以降、評価対象とするのか検討する必要があるとのことだが、担当課としてはどのように考えているか。		
説明員	これまでの取り組みに対して、一定の成果を得られたと考えている。廃止としたい。		
外部評価の 意見	過年度分の未納額を精査したうえで、着実に実施していただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	動物相談指導事業		
担当課	地域生活課	担当係	管理衛生係
日時	令和7年7月9日（水）午前11時08分～11時15分		
質疑応答 (発言者)	委員 野良猫の場合、手術した後はどうなるのか。 説明員 手術後はもといた場所に返している。 委員 委員・環境推進員への情報提供の他に取組はあるのか。 説明員 特に取組はしていないが、庄内アニマルクラブが中心となり開催される「でこワン・でこニャンまつり」で指導等を行っている。 委員 庄内アニマルクラブとはどのような団体なのか。 説明員 ホームページで確認することができる。後日、資料を準備して説明する。 委員 野良猫は手術をした後、もといた場所に返すとあったが、里親探しはできないのか。 説明員 庄内アニマルクラブでも野良猫の数が多すぎて保護受け入れができない現状である。 委員 三川のNPO団体が里親を探すような活動をしていると聞く。		
外部評価の 意見	着実に実施していただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	八ツ面川流域環境整備事業		
担当課	地域生活課	担当係	管理衛生係
日時	令和7年7月9日（水）午後11時18分～11時21分		
質疑応答 (発言者)	委員 国の補助事業は年度ごとで金額も決まっているのか。 説明員 該当事業にあたれば令和11年まで活用可能である。金額も事業によって変更する。 委員 八ツ面川は11集落、55名ほどの役員で整備している。総合学習はこれまで小学4年生だけだったが、小学2年生も川遊びを中心に学習する予定となっている。高齢化の中でも組合員の頑張りで今も八ツ面川は守られている。今年度は東屋の土台を修繕するか撤去するか検討予定となっているので、引き続き協力をお願いしたい。		
外部評価の 意見	計画的に実施していただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	エコすまいる・ゆざ育成支援事業		
担当課	地域生活課	担当係	管理衛生係
日時	令和7年7月9日（水）午後1時03分～1時08分		
質疑応答 (発言者)	委員 廃止事業とあるが、今後のこの事業の在り方を教えていただきたい。 説明員 来年度の在り方については今年度検討していく。 委員 遊佐町の統計2025によると、ごみ処理にかかる年間費用が増えているようだが、どう考えているか。 説明員 令和6年度は7月25日発生の大雨災害の影響によりごみ収集量が増加している。これを差し引けば、収集量は現状維持となっている。 委員 役割を果たして終えたものとして評価していると認識した。		
外部評価の 意見	別に啓発活動を検討することとし、現行事業は廃止としていただきたい。		方向性
			廃止

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	生ごみ処理機器購入助成事業		
担当課	地域生活課	担当係	管理衛生係
日時	令和7年7月9日（水）午後1時09分～1時14分		
質疑応答 (発言者)	委員 農家や土地を所有する人以外は電気式を使用することとなるが、課題にもあるとおり費用が高く、購入のハードルが高い。もう少し手軽に購入できるようにはできないのか。 説明員 課内で検討する。 委員 長くやっている事業で、すでに導入したい人は持っているのではないかと。事業自体は良いものである。引き続き、少しでもごみを減らせるよう努めていただきたい。		
外部評価の 意見	電気式処理機の利用促進を検討していただきたい。		方向性 改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	町民協働公園づくり補助事業		
担当課	地域生活課	担当係	管理衛生係
日時	令和7年7月9日（水）午後1時17分～1時24分		
質疑応答 (発言者)	委員 公園の遊具は維持管理の責任が集落となり、新設するのが難しい。補修や撤去が多くなるのは致し方ない。 委員 新設となると相当な額がかかるが、現段階で相談等はあるのか。 説明員 2～3件の相談があった。いずれも補修や撤去に関するもの。 委員 昨年は6件であるが、件数が多くても対応は可能なのか。 説明員 予算がある限りは対応可能となっている。 委員 老朽化や解体が多くなることが予想されるため、今後はこちらを中心に考えていただきたい。 委員 子どもが少ないということもあるが、申請があるのは子どもの多い地域なのか。 説明員 そのように感じる。子どもの安全のため努めていきたい。		
外部評価の 意見	計画的に実施していただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	デマンド交通システム事業		
担当課	産業課	担当係	産業創造係
日時	令和7年7月10日 9:00 ～ 9:25		
質疑応答 (発言者)	委員 昨年度のヒアリングで、デマンドタクシーの台数を減らすという話はなかったのか。 説明員 なかったと聞いているが、町全体を運行するためには現在の台数が必要最低限である。 委員 1台減らせば目標値も変わるのではないか。 説明員 目標値については見直したいと考えている。 委員 現在の利用者30名程度はもっと利用したい人がいてこの数字なのか等も含めて目標数値を検討していただきたい。 説明員 ヒアリング対象ではないが、健康福祉課の福祉タクシー券の事業でも交付枚数が減少している状況である。今年度ニーズ調査を行ってデマンドタクシーを継続していくことの是非も含めて検討していく。 委員 今年度のニーズ調査について、調査内容と進捗状況はどうなっているか。 説明員 調査自体はまだ始まってない。調査内容はデマンドタクシーの利用状況だけでなく、福祉タクシー券の利用状況も調査する予定である。デマンドタクシーを継続していくことの是非だけでなく、福祉タクシー券の事業を手厚くした場合、タクシーの台数や運転手は足りるのか等も含めて調査したいと考えている。 委員 調査対象はデマンドタクシー利用者への調査なのか。それとも町民全体か。 説明員 今年度の調査については現在の利用者を想定している。 委員 商工会への委託料は年間いくらか。 説明員 事務費、管理費として約30万円 委員 昨年度実施した回数券キャンペーンの販売実績はいくらか。 説明員 確認して後日提出する（後日資料提出済み）。 委員 販売枚数で関心の有無がわかると思うので確認を。福祉タクシー券について、発行枚数は多いが、使いきれてない人が相当いるという話も聞いている。実態を知るためには民間タクシーの利用状況もニーズ調査にいった方が良いと思う。この事業は交通弱者の足となる事業なので、利用者が少ないからという理由で廃止にするわけにはいかない事業だと思う。ニーズ調査をしっかりと行って利便性を図っていただきたい。		
外部評価の 意見	町民ニーズに即した交通システムの検討に努めていただきたい。		方向性
			改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	町民駅委託事業		
担当課	産業課	担当係	産業創造係
日時	令和7年7月10日 9:25 ~ 9:40		
質疑応答 (発言者)	委員 酒田駅でJRチケットを購入すると機械操作のため大変時間がかかるが、遊佐駅は人がいるので購入がスムーズでとてもありがたい。ぜひ継続してほしい。駅構内のスペースの有効活用について、具体的な案はあるのか。 説明員 すでに実施しているが、通路の展示を季節的に変えている。去年は羽越本線全線開通100周年記念の展示をしたり、クリスマスはおでこBASE利用者である高校生が考えたディスプレイを展示したり、賑わいを作るようなスペースの活用を考えている。 委員 駅の賑わいづくりのための努力を感じない。やる気のある団体に委託することも必要ではないか。軽トラ市も最初はもっと賑やかだった。関係団体が積極的に駅や駅前の賑わい作りに取り組んでいただきたいと思う。 委員 高校生のディスプレイについてはボランティアか。 説明員 駅に入っている団体等で構成するゆざっとプラザ協議会の会員の1つであるおでこBASEに企画を依頼した。 委員 自然と足を運びたくなるようなスペース作りがあってもいいと思う。 委員 賑わいについては、少年議会、おでこBASEのような人達のアイディアをもらってイベントに繋げていけば、少しは賑わいが出てくると思う。 委員 駅の賑わいについて、遊佐駅で鳥海山の宣伝はできないか。 説明員 観光物産係で民間のタクシー会社とタイアップして期間限定で登山タクシーを運行していたはず。 委員 高齢者が話をするスペースもあればよいと思う。 委員 福祉係や観光係と連携すれば少しは賑やかになると思う。 委員 人の足が向くような仕組みがあれば連鎖していくと思う。		
外部評価の 意見	駅構内や駅前スペースの賑わいを図っていただきたい。		方向性
			改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	ふるさとづくり寄付金事業		
担当課	産業課	担当係	産業創造係
日時	令和7年7月10日 9:40 ~ 10:00		
質疑応答 (発言者)			
委員	令和6年度に米の定期便が中断したのはなぜか。		
説明員	1年分の在庫が確保できる確証がなかったため、在庫量の上限に到達したため。		
委員	米自体が取れなかったわけではないのか。		
説明員	ふるさと納税のために米をストックしておくのが困難になってきた、1年後も何キロ送ると寄付者に約束できなくなってきたため、現在も定期便を休止している。		
委員	価格は別として、米なら庄内みどり農協とタイアップして1年分の量を確保できるはず。		
説明員	寄付なので1年分の量を予測するのは難しい。事業者と細かに連絡調整しながら、可能な限りふるさと納税に回していただけるよう調整していく。		
委員	令和5年度と令和6年度の寄付件数と寄付額の比較について、令和6年度は寄付件数が大幅に減ったにもかかわらず、寄付額が大幅に減っているとは見受けられない。これは何か関係しているものがあるのか。		
説明員	1件当たりの寄付額が多額な場合と少額な場合があるので、寄付件数が半減すると寄付額も半減するとは限らない。また、米の定期便が人気だったことも要因。		
委員	ふるさと納税の申込が来た時、職員が業者に返礼品を注文しているのか。		
説明員	その部分は酒田市の平野新聞社へ業務委託している。		
委員	なぜその業者なのか。		
説明員	プロポーザルによる審査結果である。		
委員	評価シートに業務を効率化できる要素があると書いてあるので、その部分を改善していただき、利用率の増、若しくは業務負担の減に努めていただきたい。		
説明員	返礼品に変更があったとき、サイトの更新作業が楽になるようなシステムの構築を検討している。		
委員	ふるさと納税の自動販売機を見たことがあり、これは良いアイデアだと思った。		
説明員	自動販売機の他に、宿泊施設の代金にも活用できないか検討している。レジを分けなければいけない等の課題はあるが、道の駅と調整しながら検討している。		
委員	新道の駅にも、ふるさと納税の商品を置くことは考えているか。		
説明員	考えている。今の道の駅でも検討している。		
外部評価の 意見	効率的な業務の在り方について、検討していただきたい。		方向性
			改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	森林整備ボランティア事業		
担当課	産業課	担当係	農林水産係
日時	令和7年7月10日 10:15 ～ 10:30		
質疑応答 (発言者)			
委員	小学校が統合になったことで何か弊害が生じているか。		
説明員	旧藤崎小学校を中心にクロマツの学習を実施していたが、小学校統合後は4年生でクロマツ林の学習として枝打ち作業などを継続していただいている。		
委員	ここ数年12月の天候が悪いとのことだが、この事業を12月に実施するのはなぜか。		
説明員	この事業はずっと12月の第1日曜日に実施している。森林が秋から冬に変わる時期で非常に作業がしやすいことが理由。また、この活動は農家の皆さんが砂丘地を守るために始めたのが最初であり、その農家の方が1番手が空くのが12月上旬ということ。		
委員	令和6年度の参加者が45人なのに、決算内訳では傷害保険加入料として50円×200人で1万円になっているのはなぜか。		
説明員	保険料は先に払う必要があり、参加者が多くなっても実施できるように支払っている。		
委員	森林整備ボランティアに参加してほしい年齢層など、ターゲットは定めているか。		
説明員	お子様連れ、高校生、大学生、一般参加の方等、出来るだけたくさんの方に参加していただきたいので、ターゲット層は特に定めていない。		
委員	目標人数に近づけるため何か具体的な取り組みは実施しているか。		
説明員	関係機関である砂丘地砂防林環境整備推進協議会は西遊佐地区、稲川地区、高瀬地区の区長さんに加盟していただいている。その協議会の会議の中でボランティア活動を周知し、各地区の区長さんに人数確保をお願いしている。		
委員	町外からの参加者は多いのか。		
説明員	私が以前この係にいた時の話になるが、当時は30名程度の参加があった。酒田市にも松林を守る団体があり、他にも大学生の参加もあった。		
委員	植栽は別事業としてあるのか。		
説明員	別事業としてある。緑の少年団の活動の一環として植栽を行っている。		
委員	町外の方にはどのように周知しているのか。		
説明員	町のHPはもちろん、県の森林整備課から団体へ周知の協力をいただいている。コミュニティ新聞にも掲載している。		
委員	SNSの活用は検討しているか。		
説明員	町の公式LINE等、色々なツールを活用していきたいと考えている。		
外部評価の 意見	計画的に進めていただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	再生可能エネルギー設備導入補助事業		
担当課	産業課	担当係	エネルギー推進室
日時	令和7年7月10日 10:50 ~ 11:00		
質疑応答 (発言者)	委員 課題に導入には経費がかかると記載されているが、それに対して補助額が低いように思われる。補助額はどのように設定したのか。 説明員 県の補助制度や他市町村の事例と比較して現在の補助額になっている。補助額を見直すことも検討はしている。仮に補助額を上げるにしても、すでに利用した人と不公平感が出ないように段階的に上げる、若しくは集中的に上げる年度を決める等、出し方に工夫が必要だと思われる。 委員 薪ストーブにはピンからキリまであるが、一律5万円補助なのか。 説明員 補助率は3分の1で、上限が5万円となっている。 委員 課題に国や県の補助メニューを参考に補助対象設備や補助金額などを見直していくと記載されているが、国や県の補助とタイアップした事例があるのか。 説明員 実際に県で蓄電設備の補助や住宅設備の補助など細かくあり、特に県の住宅設備の補助と組み合わせて使う方が多いと聞いている。 委員 昨年度の課題として補助対象設備や補助金額などを見直していく必要があったため、今年度は見直しを行ったということか。 説明員 増額とV2H設備ということで電気自動車を充電するための設備を追加した。 委員 町内で電気自動車を急速充電する設備はふらっとだけか。 説明員 遊楽里にもある。		
外部評価の 意見	計画的に進めていただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	環境・エネルギーに関する研修会開催事業		
担当課	産業課	担当係	エネルギー推進室
日時	令和7年7月10日 11:00 ~ 11:10		
質疑応答 (発言者)	委員 昨年12月に農協で実施した研修会について、どのように周知したのか。 説明員 内容が営農ソーラーと農業関係だったため、共同開発米部会の皆さんを中心に周知した。 委員 遊佐地産地消エネルギー協議会とあるが、洋上風力の説明会で、洋上風力で得た電気は遊佐町には供給されないと聞いたが、その辺りはどのように考えているか。 説明員 洋上風力の電力は基本的に発電事業者が売り先を決めることになるので、遊佐町に電気が直接供給されるわけではない。それでも町に供給される仕組みを作れないか事業者と協議している。発電事業者と配電事業者が違うので、現状の制度では町に直接電気を供給することは難しい。 委員 洋上風力については地産地消の考え方ではないということか。 説明員 そのとおり。ただ発電事業者には協議会の活動に協力してもらうようお願いをしている。今後どうやって進んでいくかまで話は詰まってないが、まだ供給されないとも言い切れない状態である。制度上の問題もあるが、工夫していきたいと考えている。		
外部評価の 意見	積極的なPRを行い、エネルギーに対する理解促進に努めていただきたい。		方向性
			改善